

えんちょう通信

No. 37

令和3年2月10日

福島市立清水幼稚園

発行者 佐藤 一男

いよいよ、発表会です

いよいよ今週の土曜日は、「発表会」です。

先週、年少組の子どもたちは自分たちで舞台の大道具を作っていました。草の形に切った段ボール紙に色を塗ります。茶色の段ボール紙がきれいな緑色に変わっていくのがとても楽しいらしく、筆を2本も3本も持って、一生懸命に色を塗っていました。

そして、今週、年長組の子どもたちは、並び方やステージへの出入りの仕方、友だちと合わせてお辞儀をするタイミングなどを丁寧に練習していました。友達と動きを合わせるということは、集団の活動ではとても大切なことです。

またプログラムに、年少組の子どもたちは、自分が演じるクマの絵やこびとの絵を描き、先生に言葉を添えてもらっていました。年長組の子どもたちは、ひらがなで「もうすぐ、はっぴょうかいです。がんばります。」などと心を込めて書いていました。

こういう準備や練習の「過程」で、子どもたちは、表現力や友だちと協力・協働する力、周りの様々な人への感謝の心などを身につけていきます。発表会までには、そのような様々な「学び」があります。

ステージに立つまでの子どもたちのこれまでの頑張りにも思いを寄せて、温かなまなざしで見ていただき、大きな拍手を送っていただければと思っています。

ワクワク、ドキドキ！1年生の授業を見に行きます

発表会が終わると、3月には卒園式があり、そして4月、年長組の子どもたちは小学校へ入学します。今年度は小学校の学習発表会を見に行ったり、子ども祭りで1年生と交流したりできなくて、子どもたちにはかわいそうなことをしたなと思っていましたが、清水小学校の先生方のご配慮で、年長組の子どもたちが小学校見学に行くことになりました。

3月2日(火)に、年長組の子どもたちが清水小学校へ行って、授業ってどんなことをするのか、教室の中はどうなっているのかといったことを、自分の目で実際に見てきます。

これで小学校への期待と夢も一層を膨らむことと思います。

